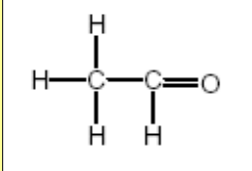


項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

1. 一般情報

(09年1月改訂版)

1.01 物質情報

CAS番号	75-07-0
物質名(日本語名)	アセトアルデヒド
物質名(英名)	Acetaldehyde
別名等	Acetic aldehyde
国内適用法令の番号	化審法官報公示No.2-485
国内適用法令物質名	アセトアルデヒド
OECD/HPV名称	Acetaldehyde
分子式	C2H4O
構造式	
備考	記載なし

1.02 安全性情報収集計画書／報告書作成者に関する情報

機関名	アセトアルデヒドコンソーシアム
代表者名	
所在地及び連絡先	
担当者氏名	
担当者連絡先(住所)	
担当者連絡先(電話番号)	
担当者連絡先(メールアドレス)	
報告書作成日	2007.12.28改訂, 2009.1.8改訂,
備考	記載なし

1.03 カテゴリー評価

カテゴリー評価の正当性	該当しない
-------------	-------

1.1 一般的な物質情報

物質のタイプ	有機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	無色気体、無色液体、悪臭
物理的状態(20℃、1013hPa)	液体
純度(重量／重量%)	99.5%以上
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒドに記載
備考	出典のp2の2.5より引用: 悪臭防止法において特定悪臭物質に該当する。 規制基準値は0.05～0.5ppmとされ、具体的な基準は都道府県知事が地域の実情に応じて規制基準の範囲内で定める。

1.2 不純物

CAS番号	123-73-9(総称4170-30-3)
物質名称(IUPAC)	2-Butenal
国内適用法令の番号	官報公示整理番号:2-524
適用法令における名称	クロトナルデヒド
含有率(%)	0.1%以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(化学物質評価研究機構,2002)の結果による
備考	RTECS番号:GP9499000

CAS番号	107-89-1
物質名称(IUPAC)	3-Hydroxybutylaldehyde
国内適用法令の番号	官報公示整理番号:2-540
適用法令における名称	アルドール
混合率(%)	0.02%以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	記載なし

CAS番号	123-38-6
物質名称(IUPAC)	Propanal
国内適用法令の番号	官報公示整理番号:2-486
適用法令における名称	プロピオンアルデヒド
混合率(%)	0.02%以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	記載なし

CAS番号	67-64-1
物質名称(IUPAC)	Acetone
国内適用法令の番号	官報公示整理番号:2-542
適用法令における名称	アセトン

混合率(%)	0.02 %以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	記載なし

CAS番号	123-63-7
物質名称(IUPAC)	2,4,6-Trimethyl-1,3,5-Trioxane
国内適用法令の番号	官報公示整理番号:2-483
適用法令における名称	2,4,6-トリメチル-1,3,5-トリオキサン
混合率(%)	0.02 %以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	記載なし

CAS番号	該当せず
物質名称(IUPAC)	該当せず
国内適用法令の番号	該当せず
適用法令における名称	酸分
混合率(%)	0.02 %以下
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(化学物質評価研究機構,2002)の結果による
備考	記載なし

1.3 添加物

CAS番号	該当せず
物質名称(IUPAC)	該当せず
国内適用法令の番号	該当せず
適用法令における名称	該当せず
含有率(%)	該当せず
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(化学物質評価研究機構,2002)の結果による
備考	出典のp1, 2.4項より引用: 添加物又は安定剤 無添加(一般的な製品)

1.4 別名

物質名-1	エタナール
物質名-2	酢酸アルデヒド
物質名-3	エチルアルデヒド
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	出典のp1, 2.1項参照

1.5 製造・輸入量

製造・輸入量 報告年	100,000～1,000,000(t)未満 製造量:通商産業省,1998-2000; 経済産業省,2001-2002; 輸入量:財務省,2003																														
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(製造量:通商産業省,1998-2000; 経済産業省,2001-2002; 輸入量:財務省,2003) の結果による																														
備考	出典のP3、表4-1より引用: 国内製造・輸入量等(トン) <table><tr><td>年</td><td>1997</td><td>1998</td><td>1999</td><td>2000</td><td>2001</td></tr><tr><td>製造量</td><td>435,835</td><td>414,099</td><td>414,679</td><td>401,055</td><td>371,701</td></tr><tr><td>輸入量</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>輸出量</td><td>8</td><td>7</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td></tr><tr><td>国内供給量</td><td>435,827</td><td>414,092</td><td>414,669</td><td>401,051</td><td>371,700</td></tr></table> (製造量:通商産業省,1998-2000;経済産業省,2001-2002;輸出入量:財務省,2003)	年	1997	1998	1999	2000	2001	製造量	435,835	414,099	414,679	401,055	371,701	輸入量	0	0	0	1	0	輸出量	8	7	10	5	1	国内供給量	435,827	414,092	414,669	401,051	371,700
年	1997	1998	1999	2000	2001																										
製造量	435,835	414,099	414,679	401,055	371,701																										
輸入量	0	0	0	1	0																										
輸出量	8	7	10	5	1																										
国内供給量	435,827	414,092	414,669	401,051	371,700																										

1.6 用途情報

主な用途情報	中間体用途
	酢酸エチル合成原料(全体の62%,2003NITE)
工業的用途	その他の化学工業
	ペンタエリスリトール,グリオキザール,ピリジン,ラクトニトリル,酢酸合成原料
用途分類	用途カテゴリNo.33 SubNo.290
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド
備考	出典p3の4.2より引用:

1.7 環境および人への暴露情報

暴露に関する情報	1.環境経由の暴露 アセトアルデヒドの環境経由のヒトへの暴露経路としては、主として呼吸による吸入暴露と飲料水及び食物の摂取による経口暴露が考えられる。 2. 消費者製品経由の暴露 アセトアルデヒドの消費者製品からの暴露の一部は、建材や家具に使用されている接着剤等からの放散が考えられ、これら消費者製品からの暴露は室内空気からの暴露に包括されると判断する。アセトアルデヒドは、エチルアルコールの体内での代謝産物である。また、たばこの主流煙中に112～1,182μ g/本、副流煙中に1,601～1,897μ g/本のアセトアルデヒドが含まれていたとの分析結果が報告されている(厚生労働省, 2002b)。
----------	--

出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中の本文および本文中に記載された文献(厚生労働省, 2002b)の結果による。
備考	出典P12の6.4参照

1.8 追加情報

既存分類	ESIS分類:F+(極燃性)、Xn(有害性) Risk Phrases: R12(引火性が極めて高い) R36/37(眼および呼吸器系を刺激する) R40(発がん性の限られた証拠がある)
職業暴露限界	日本産業衛生学会許容濃度(最大許容濃度):90mg/m3
廃棄方法	記載なし
文献調査の範囲と日付	IUCLID, 初期リスク評価書, 既存化学物質安全性(ハザード)評価シート, RTECS, HSDB, DOSE, ACGIH, IRIS, TSCATS, CCRIS, NIOSH, CIGAD, ECOTOX, 2006.10.13
出典	①The Last amended 2004/73/EC on Directive 67/548/EEC(29 April 2004) ②JSOH (April 13, 2004) 既存化学物質安全性(ハザード)評価シート
備考	記載なし

2. 物理化学的性状

2.1 融点

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
融点: °C	-123.5°C
分解: °C	不明
昇華: °C	不明
結論	融点 -123.5°C
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等) キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Merck 2001)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.2 沸点

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
沸点: °C	21°C
圧力	不明
分解: °C	不明
結論	沸点 21°C
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等) キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Merck 2001)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.3 密度(比重)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	0.788
タイプ	比重
温度(°C)	16°C/4°C
注釈	該当せず

信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Merck 2001)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.4 蒸気圧

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
蒸気圧	99kPa
温度: °C	20°C
分解: °C	不明
結論	蒸気圧 99kPa
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IPSC 1999)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.5 分配係数(log Kow)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
Log Kow	オクタノール/水 分配係数 log Kow -0.34 (測定値)、 -0.17 (推定値)
温度: °C	不明
結論	オクタノール/水 分配係数 log Kow -0.34 (測定値)、 -0.17 (推定値)
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(SRC:KowWin,2002)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	水:混和
水溶解度	不明
温度: °C	不明
pH	不明
pH測定時の物質濃度	不明
結論	水:混和
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Merck 2001)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照
解離定数	
試験物質	Acetaldehyde
同一性	75-07-0
方法	不明
温度: °C	25°C
GLP	不明
試験条件	不明

試験を行った年	不明
結果	pKa = 13.6 (25°C)
結論	pKa = 13.6 (25°C)
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(SRC:PhysProp,2002) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.6.2 表面張力

2.7 引火点(液体)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
引火点: °C	-39°C
試験のタイプ	クローズドカップ
結論	引火点 -39°C
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(NFPA, 2002) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.8 自己燃焼性 (固体／気体)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
自動発火点: °C	185°C(IPCS), 175°C(NFPA)
圧力	不明
結論	発火点 185°C(IPCS), 175°C(NFPA)
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IPCS, 1999:NFPA, 2002) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.9 引火性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
固体の場合	該当せず
引火性が高い	選択してください
気体の場合	爆発下限濃度: 4vol%(IPCS)、4vol%(NFPA) 爆発上限濃度: 57vol%(IPCS)、60vol%(NFPA)
水との接触	選択してください
結論	爆発限界 4～57vol%(空気中)(IPCS) 4～60vol%(空気中)(NFPA)
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IPCS, 1999:NFPA, 2002) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.10 爆発性

試験物質名	Acetaldehyde
-------	--------------

CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
火により爆発	不明
m-ジニトロベンゼンより摩擦に敏感	不明
m-ジニトロベンゼンより衝撃に敏感	不明
爆発性ない	不明
その他	爆発限界 4～57vol%(空気中)(IPCS) 4～60vol%(空気中)(NFPA)
結論	爆発限界 4～57vol%(空気中)(IPCS) 4～60vol%(空気中)(NFPA)
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IPCS, 1999;NFPA, 2002) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.11 酸化性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
最大燃焼速度が参照混合物と同等かそれより高い	その他: 下欄のセルに記載
予備試験で激しい反応	その他: 下欄のセルに記載
非酸化性	その他: 下欄のセルに記載
その他	空気と接触して爆発性の過酸化物を生じることがある。鉄などの金属が存在すると、水酸化ナトリウムなどの塩基性物質や酸の影響を受けて重合することがある。
結論	空気と接触して爆発性の過酸化物を生じることがある。
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IPCS, 1999) の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

2.12 酸化還元ポテンシャル

2.13 その他の物理化学的性状に関する情報

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	蒸気密度: 1.52(空気=1) アルコール溶解性: 混和 (Merk,2001) 主要マススペクトルフラグメント: m/z 29(基準ピーク=1.0)、44(0.81)、43(0.33) (NIST,1998) 換算係数: (気相、20℃)1ppm=1.83mg/m ³ 、1mg/m ³ =0.546ppm
結論	蒸気密度: 1.52(空気=1) 溶解性: アルコール 混和 (Merk,2001) 主要マススペクトルフラグメント: m/z 29(基準ピーク=1.0)、44(0.81)、43(0.33) (NIST,1998) 換算係数: (気相、20℃)1ppm=1.83mg/m ³ 、1mg/m ³ =0.546ppm
注釈	該当せず

信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献((Merck,2001;NIST,1998)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

3. 環境運命と経路

3.1 安定性

3.1.1. 光分解

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	該当せず
注釈	該当せず
方法	AOPWIN(version1.91)
タイプ	間接光分解
GLP	該当せず
試験を行った年	2006年
光源と波長(nm)	該当せず
太陽光強度に基づいた相対強度	該当せず
物質のスペクトル	該当せず
試験条件	照射時間:12時間/日
結果	
物質濃度	該当せず
温度(℃)	該当せず
直接光分解	
半減期t1/2	該当せず
分解度(%)と時間	該当せず
量子収率 (%)	該当せず
間接光分解	
増感剤(タイプ)	OHラジカル
増感剤濃度	$1.5 \times 10^9 \text{ OH/cm}^3$
速度定数	$16.9800 \times 10^{-12} \text{ cm}^3/\text{molecule} \cdot \text{秒}$
半減期t1/2	t1/2=0.630日
分解生成物	該当せず
結論	t1/2=0.630日
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	該当なし
備考	記載なし

3.1.2. 水中安定性(加水分解性)

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
試験条件	不明
結果	
設定濃度	不明
実測濃度	不明
所定時間後の分解度(%)、pH、温度	不明
半減期	不明
分解生成物	その他:下欄のセルに記載
結論	なし
注釈	1. アセトアルデヒドには加水分解を受けやすい化学結合はないので、水環境中では加水分解されない(US. NLM:HSDB, 2002)。 2. アセトアルデヒドは、環境水中で酸化されることが考えられ(Environmente Canada, 2000)、生成物は酢酸が考えられる。
注釈	該当せず
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(US. NLM:HSDB, 2002; Environmente Canada, 2000)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp6, 5.2項参照

3.1.3. 土壌中安定性

3.2. モニタリングデータ(環境)

試験物質名	Acetaldehyde				
CAS番号	75-07-0				
純度等	不明				
注釈	該当せず				
方法	不明				
測定タイプ(地点)	その他: 下欄のセルに記載				
	一般環境、発生源周辺、沿道の3区分、合計333箇所の大気中濃度を測定				
媒体	大気				
結果	大気中濃度: 平均値(環境省2001年度モニタリング調査; 環境省2002a)				
	地域分類	地点数	年平均の算術平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均の幾何平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均の最大値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
	一般環境	201	2.5	2.2	6.9
	発生源周辺	50	2.7	2.5	5.3
	沿道	82	3.0	2.7	6.8
	全体	333	2.7	2.4	6.9
結論	大気中濃度: 平均値(環境省2001年度モニタリング調査; 環境省2002a)				
	地域分類	地点数	年平均の算術平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均の幾何平均 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	年平均の最大値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
	一般環境	201	2.5	2.2	6.9
	発生源周辺	50	2.7	2.5	5.3
	沿道	82	3.0	2.7	6.8
	全体	333	2.7	2.4	6.9
注釈	該当せず				
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)				
	キースタディ				
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による				
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(環境省2001年度モニタリング調査; 環境省2002a)の結果による				
引用文献	該当なし				
備考	出典のp7, 6.2.1a項 表6.2参照				

3.3. 移動と分配

3.3.1 環境区分間の移動

5.3.1 環境区画間の移動									
試験物質名	Acetaldehyde								
CAS番号	75-07-0								
純度等	該当せず								
注釈	該当せず								
方法	Fugacity model III								
結果									
媒体	大気－水－土壌－底質								
環境分布予測と媒体中濃度 (levelIII/III)	分布(%) <table><tr><td>大気</td><td>水域</td><td>土壌</td><td>底質</td></tr><tr><td>3.9</td><td>49.5</td><td>46.5</td><td>0.0909</td></tr></table>	大気	水域	土壌	底質	3.9	49.5	46.5	0.0909
大気	水域	土壌	底質						
3.9	49.5	46.5	0.0909						
結論	分布(%) <table><tr><td>大気</td><td>水域</td><td>土壌</td><td>底質</td></tr><tr><td>3.9</td><td>49.5</td><td>46.5</td><td>0.0909</td></tr></table>	大気	水域	土壌	底質	3.9	49.5	46.5	0.0909
大気	水域	土壌	底質						
3.9	49.5	46.5	0.0909						
注釈	EPISUIT (version3.12)								
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)								
	キースタディ								
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法								
出典	国による情報提供								
引用文献	該当なし								
備考	記載なし								

3.3.2 分配

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	該当せず
注釈	該当せず
媒体	水-空気

方法	ヘンリー定数
試験条件	該当せず
結果	6.87 Pa・m3/mol
結論	6.87 Pa・m3/mol
注釈	HENRYWIN(Version3.10)
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	一般的に認められている計算方法
出典	国による情報提供
引用文献	該当なし
備考	記載なし

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
媒体	水-空気
方法	ヘンリー定数
試験条件	25℃、測定値
結果	ヘンリー定数: 6.76 Pa・m3/mol (6.67 × 10 ⁻⁵ atm・m3/mol)
結論	ヘンリー定数: 6.76 Pa・m3/mol
注釈	測定値
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(SRC:PhysProp, 2002)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
媒体	水-土壌
方法	土壌吸着定数
試験条件	不明
結果	土壌吸着係数 K _{oc} =1(推定値)
結論	土壌吸着係数 K _{oc} =1(推定値)
注釈	推定値
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(SRC:PcKocWin, 2002)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp2, 3項参照

3.4 好気性生分解性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	99.5% 以上 入手先: MERCK 商品名: Acetaldehyde 等級: for Biochemistry ロット番号: ZA1601305
注釈	該当なし
方法	「新規化学物質に係る試験の方法について」(環保業第5号、薬発第615号、49基局第392号、昭和49年7月13日)に規定する<異性物による化学物質の分解度試験>および「OECD Guideline for Testing of Chemicals」(July 17, 1992)に定める“Ready Biodegradability: 301C, Modified MITI Test(I)”に準拠した。 (1)閉鎖系酸素消費量測定装置による生物化学的酸素要求量(BOD)の測定 (2)全有機炭素分析法(TOC)による溶存有機炭素の分析 (3)ガスクロマトグラフィー(GC)による被験物質の分析
培養期間	14日間
植種源	活性汚泥: 以下の全国10ヶ所から採取した汚泥を混合して調整した。 (1)都市下水処理場の下水処理場の返送汚泥(4ヶ所) (2)河川・湖沼及び海の表層水と大気と接触している波打ち際の表土(6ヶ所)
GLP	はい
試験を行った年	2006
試験条件	該当なし
試験物質濃度	被験物質濃度: 100mg/l,
汚泥濃度	活性汚泥濃度: 30mg/l,
培養温度 °C	25±1℃
対照物質および濃度(mg/L)	アニリンの濃度: 100mg/L
分解度測定方法	BOD、TOC、GC
分解度算出方法	算術平均
結果	
最終分解度(%) 日目	BOD測定による 最終分解度 100%、14日目

分解速度-1	不明
分解速度-2	不明
分解速度-3	7日後 89%、84%、84% 平均86%
分解速度-4	14日後 103%、98%、99% 平均100%
分解生成物	該当なし
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果	TOCによる分解度 94% GCによる分解度 100%
対照物質の7、14日目の分解度	アミノリンのBOD分解度： 7日後68%、14日後92%
その他	該当なし
結論	生物化学的酸素消費量(BOD) 測定での分解率は100%であり、良分解性と判定されている。
注釈	「新規化学物質に係る試験の方法について」(環保業第5号、薬発第615号、49基局第392号、昭和49年7月13日)に規定する<異性物による化学物質の分解度試験>および「OECD Guideline for Testing of Chemicals」(July 17,1992)に定める“Ready Biodegradability: 301C, Modified MITI Test(I)”に準拠した。
信頼性スコア	1 制限なく信頼性あり
	キースタディ
信頼性の判断根拠	OECDのテストガイドラインに従い、GLPで実施されている。
出典	国による情報提供
引用文献	文献1
備考	記載なし

3.5. BOD-5、CODまたはBOD-5／COD比

3.6 生物濃縮性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明
注釈	該当せず
方法	不明
生物種	不明
暴露期間 (日)	不明
曝露濃度	不明
排泄期間	不明
GLP	不明
試験を行った年	不明
分析方法	不明
試験条件	不明
被験物質溶液	不明
対照物質	不明
対照物質名及び分析方法	その他: 下欄のセルに記載
試験方式／実施	オクタノール/水分分配係数log Kow の値-0.34 から計算
結果	
死亡率／行動	不明
脂質含有量 (%)	不明
試験中の被験物質濃度	不明
濃縮係数 (BCF)	3.2(計算値)
取込／排泄定数	不明
排泄時間	不明
代謝物	不明
その他の観察	不明
結論	水生生物への濃縮性は低いと推測される。
注釈	アセトアルデヒドの生物濃縮係数 (BCF) の測定値は、調査した範囲内では報告されていない。
信頼性スコア	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性のある文献(初期リスク評価書)による
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(SRC:BcfWin, 2002)の結果による
引用文献	該当なし
備考	出典のp6. 5.4項参照

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

(09年1月改訂版)

4-1 魚への急性毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
魚種、系統、供給者	Pimephales promelas (ファットヘッドミノー) 淡水魚
エンドポイント	96 時間LC50
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	17.5 mm 0.554 g 30 日齢
試験用水量あたりの魚体重	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
じゅん化条件	記載なし
希釈水源	記載なし
希釈水の化学的性質	53(mg CaCO3/L) pH7.6
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	流水
換水率/換水頻度	記載なし
連数、1連当たりの魚数	記載なし
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	記載なし
試験温度範囲	23.9℃
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
生物学的影響観察	記載なし
累積死亡率の表	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	記載なし
対照区における死亡率	記載なし
異常反応	記載なし
その他の観察結果	記載なし
結論	
結果(96h-LC50)	30.8mg/L(測定濃度)
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Brooke et al., 1984)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP15 7.1.4.参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
魚種、系統、供給者	Pimephales promelas (ファットヘッドミノー) 淡水魚
エンドポイント	96 時間LC50
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	17.5 mm 0.078g 27-33日齢
試験用水量あたりの魚体重	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
じゅん化条件	記載なし
希釈水源	記載なし
希釈水の化学的性質	46.6(mg CaCO3/L) pH7.1
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	流水
換水率/換水頻度	記載なし
連数、1連当たりの魚数	記載なし

影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	記載なし
試験温度範囲	21.6℃
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
生物学的影響観察	記載なし
累積死亡率の表	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	記載なし
対照区における死亡率	記載なし
異常反応	記載なし
その他の観察結果	記載なし
結論	
結果(96h-LC50)	37.2mg/L(測定濃度)
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Geiger et al., 1990)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP15 7.1.4 参照

4-2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種、系統、供給者	Daphnia magna(甲殻類、オオミジンコ)
エンドポイント	48時間-EC50 遊泳阻害
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験生物の起源、前処理、繁殖方法	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
試験開始時の時間齢	記載なし
希釈水源	記載なし
希釈水の化学的性質	硬度 89.5-180mgCaCO3/L pH7.0-8.2
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	止水
連数、1連当たりの試験生物数	記載なし
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	記載なし
試験温度範囲	22℃
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
遊泳阻害数	記載なし
累積遊泳阻害数の表	記載なし
注釈	記載なし
対照区における反応は妥当か	不明
対照区における反応の妥当性の考察	記載なし
結論	
結果(48h-EC50)	48.3mg/L(設定濃度)
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Randall & Knopp, 1980)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP14 7.1.3(表 7-3) 参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	ASTMガイドライン 止水閉鎖系
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種、系統、供給者	Americamysis bahia(甲殻類、ミシッドシュリンプ、アミ科) 海水生物
エンドポイント	96時間- LC50
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし

結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験生物の起源、前処理、繁殖方法	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
試験開始時の時間齢	生後48 時間以内
希釈水源	記載なし
希釈水の化学的性質	塩分濃度:32‰、pH7.98
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	止水
連数、1連当たりの試験生物数	記載なし
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	記載なし
試験温度範囲	20.5℃
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
遊泳阻害数	記載なし
累積遊泳阻害数の表	記載なし
注釈	記載なし
対照区における反応は妥当か	不明
対照区における反応の妥当性の考察	記載なし
結論	
結果(48h-EC50)	96 時間LC50:27.4mg/L(設定濃度) 水生生物に対する毒性データの最小値であった。
信頼性スコア	2 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Carr, 1987)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP15 7.1.3(表 7-3) 参照

4-3 水生植物への毒性(例えば藻類)

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種、系統、供給者	Chlamydomonas reinhardtii (緑藻、クラミドモナス)
エンドポイント	その他
毒性値算出に用いたデータの種類	記載なし
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験施設での藻類継代培養方法	記載なし
藻類の前培養の方法及び状況	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
希釈水源	記載なし
培地の化学的性質	記載なし
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	止水
連数	記載なし
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質	記載なし
試験温度範囲	20℃
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
細胞密度	記載なし
生長阻害率(%)	記載なし
各濃度区における生長曲線	記載なし
その他観察結果	光合成阻害
注釈	記載なし
対照区での生長は妥当か	不明
対照区における反応の妥当性の考察	記載なし

結論	
結果 (ErC50)	2 時間EC5 光合成阻害 2時間EC5: 23mg/L (設定濃度)
結果 (NOEC)	記載なし
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり (非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書 (化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Brack & Frank, 1998)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP14 7.1.2 (表 7-2)参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種、系統、供給者	Nitzschia linearis(珪藻、ニッチア) 海水生物
エンドポイント	生長阻害
毒性値算出に用いたデータの種類	記載なし
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
結果の統計解析手法	記載なし
試験条件	
試験施設での藻類継代培養方法	記載なし
藻類の前培養の方法及び状況	記載なし
参照物質での感受性試験結果	記載なし
希釈水源	記載なし
培地の化学的性質	記載なし
試験溶液 (及び保存溶液) とその調製法	記載なし
試験物質の溶液中での安定性	記載なし
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	記載なし
暴露容器	記載なし
暴露期間	記載なし
試験方式	止水
連数	記載なし
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質	記載なし
試験温度範囲	22°C
照明の状態	記載なし
平均測定濃度の計算方法	記載なし
結果	
設定濃度	記載なし
実測濃度	記載なし
細胞密度	記載なし
生長阻害率(%)	記載なし
各濃度区における生長曲線	記載なし
その他観察結果	記載なし
注釈	記載なし
対照区での生長は妥当か	不明
対照区における反応の妥当性の考察	記載なし
結論	
結果 (ErC50)	120 時間EC50: 237-249mg/L (設定濃度)
結果 (NOEC)	記載なし
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり (非GLP等)
キースタディ	キースタディ
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書 (化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Patrick et al., 1968)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP14 7.1.2 (表 7-2)参照

4-4 微生物への毒性 (例えばバクテリア)

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種	海洋性発光細菌 (Photobacterium 属)
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
暴露期間	記載なし
試験条件	15°C
結果	
毒性値	記載なし
注釈	記載なし
結論	
結果 (EC50等)	30分間EC50発光阻害: 342mg/L (設定濃度)
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり (非GLP等)

キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Curtis et al., 1982)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP13 7.1.1(表 7-1) 参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
生物種	Tetrahymena pyriformis(繊毛虫類)
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
暴露期間	記載なし
試験条件	28℃
結果	
毒性値	記載なし
注釈	記載なし
結論	
結果(EC50等)	9 時間EC50 増殖阻害: 44mg/L (設定濃度)
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Sauvant et al., 1995)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP13 7.1.1 参照

4-5 水生生物への慢性毒性

A. 魚への慢性毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	
方法	
GLP	選択して下さい
試験を行った年	
魚種、系統、供給者	
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	
エンドポイント	
結果の統計解析手法	
試験条件	
試験魚の月齢、体長、体重	
餌の種類、給餌量、給餌頻度	
孵化後の移動までの時間	
最初の給餌までの時間	
試験開始2週間前までの疾病対策のための処理	
胚と仔魚の取扱方法	
暴露チャンバーの材質など	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
試験溶液の調製方法	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
暴露期間	
その他	
測定項目、測定に伴うサンプル採取時期、サンプリング間隔、手順	
試験方式	選択して下さい
結果	
用量設定試験の実施の有無	選択して下さい
用量設定試験結果	
設定濃度	
実測濃度	
影響(対照区含む)	
胚、仔魚、稚魚の各成長段階及び全体における死亡/生存データ	
ふ化の開始時間及び終了時間	
各日のふ化した仔魚数	
生存個体の体長/体重	
奇形の発症した仔魚数	
異常行動を示す魚数	
その他の影響	
注釈	
結論	
EC50	
NOEC、LOEC	
信頼性スコア	選択して下さい
キースタディ	選択してください

信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	情報なし

B. 水生無脊椎動物への慢性毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	
方法	
GLP	選択して下さい
試験を行った年	
試験生物種	
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	
エンドポイント	
結果の統計解析手法	
試験条件	
助剤使用の有無	選択して下さい
助剤の種類、濃度、助剤対照区の有無	
試験温度	
pH	
硬度	
試験生物の情報	
希釈水源	
希釈水の化学的性質	
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	
試験物質の溶液中での安定性	
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	
暴露期間	
暴露容器	
連数、1連当たりの試験生物数	
照明	
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	
平均測定濃度の計算方法	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
実測濃度の詳細	
累積遊泳阻害数	
累積産仔数	
対照区における反応は妥当か	選択して下さい
生理的影響	
試験の妥当性	
注釈	
結論	
結果(EC50)	
結果(NOEC、LOEC)	
信頼性スコア	選択して下さい
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	情報なし

4-6 陸生生物への毒性

TOXICITY TO TERRESTRIAL ORGANISMS

A. 陸生植物への毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
種	レタス
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
エンドポイント	色変化と壊死等
暴露期間	4時間
試験条件	暴露濃度36,000～108,000mg/m3
結果	
毒性値	NOEC 36,000mg/m3
注釈	アセトアルデヒド(54,000～108,000 mg/m3) に4 時間暴露したとき、レタス(Lactuca sativa)に外葉の色の变化や壊死等が観察されたが、36,000 mg/m3 では何ら影響はみられなかった(Aharoni et al., 1979; Stewart et al., 1980)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ

出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Aharoni et al., 1979; Stewart et al., 1980)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP16 7.2.2(本文) 参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
種	タマネギ、ニンジン、オオホナガアオゲイトウ、トマト
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
エンドポイント	発芽影響
暴露期間	3日間
試験条件	試験最高濃度:1,520mg/L
結果	
毒性値	記載なし
注釈	タマネギ、ニンジン、オオホナガアオゲイトウ及びトマト種子をアセトアルデヒドに3日間処理して発芽の影響を調べた実験において試験最高濃度の1,520 mg/L でいずれも50%以上の阻害が認められた(Baradow and Connic, 1988)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Baradow and Connic, 1988)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP16 7.2.2(本文) 参照

B. 土壌生物への毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
種	11 種の菌類
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
エンドポイント	生育阻害及び致死の影響濃度
暴露期間	5日間暴露
試験条件	蒸気濃度540mg/m3
結果	
毒性値	記載なし
注釈	11 種の菌類の生育阻害及び致死の影響濃度は、540～357,000 mg/m3 であり、そのうち最も感受性が高かったのは <i>Penicillium italicum</i> 及び <i>P. digitatum</i> であった。アセトアルデヒドの蒸気濃度540mg/m3 に5日間暴露したとき、それぞれ95と91%の生育阻害が観察された(Yuen et al., 1995)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Yuen et al., 1995)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP16 7.2.1(本文) 参照

C. 他の非哺乳類陸生種(鳥類を含む)への毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
種	2種のナメクジ: <i>Arion hortensis</i> 及び <i>Agriolimax reticulatus</i>
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
エンドポイント	96時間 LC50
暴露期間	96時間
試験条件	記載なし
結果	
毒性値	<i>Arion hortensis</i> : LC50 8.91mg/L <i>Agriolimax reticulatus</i> : LC50 7.96mg/L
注釈	2 種のナメクジ <i>Arion hortensis</i> 及び <i>Agriolimax reticulatus</i> に対する96 時間LC50 は、それぞれ8.91 mg/L と7.96 mg/L であった
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Henderson, 1970)の結果による。
引用文献	文献1

備考	P16 7.2.3本文参照。 2 種のアブラムシMyzus persicae 及びAcythosiphon kondai に対するアセトアルデヒドの影響が調べられ、M. persicae では3,600 mg/m ³ 、A. kondai では4,500 mg/m ³ 濃度に暴露したときにはすべての成長段階で100%の死亡がみられた(Aharoni et al., 1979)。
----	---

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	記載なし
試験の種類	選択して下さい
GLP	不明
試験を行った年	記載なし
種	マガモ, コリンウズラ
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	記載なし
エンドポイント	死亡率 LC50
暴露期間	8日間
試験条件	記載なし
結果	
毒性値	LC50=5000ppm超(マガモ), 808ppm(ウズラ)
注釈	マガモとコリンウズラを用いてアセトアルデヒドに8 日間暴露して死亡を調べた結果、LC50はそれぞれ5000 ppm 超及び808 ppm であった(Office of Pesticide Program, 2000)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Office of Pesticide Program, 2000)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP16 7.2.3 参照

4-6-1底生生物への毒性

試験物質	Acetaldehyde
同一性	
方法	
試験の種類	選択して下さい
試験物質の添加方法	選択して下さい
GLP	選択して下さい
試験を行った年	
種	
試験物質の分析の有無	選択して下さい
試験物質の分析方法	
エンドポイント	
暴露期間	
試験条件	
試験生物の情報	
参照物質における試験結果	
給餌に関する情報	
底質源	選択して下さい
底質の性質	
水源	
水質	
連数、1 連当たりの試験生物数	
試験物質の底質又は上層水への添加方法、平衡させるための期間及び条件	
助剤使用の有無	選択して下さい
助剤の種類、濃度、助剤対照区の有無	
暴露容器	
平均測定濃度の計算方法	
試験水の水温、pH、DOの範囲	
結果	
設定濃度	
実測濃度	
実測濃度の詳細	
毒性値	
試験期間中の試験物質の安定性	
結果の統計解析手法、p値、95%信頼限界、関連する文献	
観察結果	
対照区の結果、有効性基準が満たされているか否か	
結論	
信頼性スコア	選択して下さい
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	情報なし

4-7 生物学的影響モニタリング(食物連鎖による蓄積を含む)

試験物質	Acetaldehyde
------	--------------

同一性	
方法	
試験される種又はエコシステム	
観察される影響	
試験を行った年	
試験条件	
結果	
結論	
試験物質の分析	
環境条件に関する情報	
信頼性スコア	選択して下さい
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	情報なし

4-8 生体内物質変換と動態

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	SD ラット 1 時間吸入
試験を行った年	記載なし
試験生物のタイプ	陸生動物
試験条件	記載なし
結果	
結論	記載なし
注釈	SD ラットに1 時間吸入暴露した実験で、アセトアルデヒドは血液、肝臓、腎臓、脾臓、心臓、心筋、骨格筋に分布していたが、代謝が速いために、肝臓での濃度は比較的低かった(Hobaraet al., 1985; Watanabe et al., 1986)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Hobaraet al., 1985; Watanabe et al., 1986)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP18 8.1.b参照

試験物質	Acetaldehyde
同一性	記載なし
方法	ICR マウス(妊娠10日目)
試験を行った年	記載なし
試験生物のタイプ	陸生動物
試験条件	200 mg/kg を腹腔内投与
結果	
結論	記載なし
注釈	アセトアルデヒドが胎盤を介して胎児循環系に入る可能性も示唆されている。妊娠10日目のICR マウスにアセトアルデヒド200 mg/kg を腹腔内投与した実験で、2 時間後に胎児に検出された。また、エタノール79 mg/kg を腹腔内投与すると、投与12 時間後に低濃度、もしくは検出限界付近の濃度で胎児にアセトアルデヒドが検出された(Blakley and Scott, 1984b)。
信頼性スコア	2. 制限付で信頼性あり(非GLP等)
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Blakley and Scott, 1984b)の結果による。
引用文献	文献1
備考	出典資料のP18 8.1.b参照

4-9 追加情報

試験物質	Acetaldehyde
同一性	
方法	
結果	
結論	
信頼性スコア	選択して下さい
キースタディ	選択してください
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献	
備考	情報なし

項目名 (同一の試験項目について複数の試験がある場合、当該項目行をコピー追加してください。)	データ入力欄
	黄色＝必須項目
	青＝任意項目
	紫＝一部の物質で必須項目

(09年1月改訂版)

5-1 トキシコキネティクス、代謝、分布
TOXICOKINETICS, METABOLISM, and DISTRIBUTION

5-2 急性毒性

A. 急性経口毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat
	no data
性別	不明
投与量	記載なし
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください
	不明
投与経路	強制経口投与
観察期間	記載なし
その他の試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
各用量群での死亡数	記載なし
臨床所見	記載なし
剖検所見	記載なし
その他	記載なし
結論	
LD50値又はLC50値	LD50＝660～1930mg/kg
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Smyth et al.,1951; Sprince et al.,1874)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P22 8.3.1 参照

B. 急性吸入毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat
	記載なし
性別	不明
投与量	記載なし
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください
	記載なし
投与経路	選択してください
	吸入
観察期間	記載なし
その他の試験条件	4時間吸入, 0.5時間吸入
統計学的処理	記載なし
結果	
各用量群での死亡数	記載なし
臨床所見	記載なし
剖検所見	記載なし
その他	記載なし
結論	

LD50値又はLC50値	LC50 =4時間吸入:13,100 ppm (24,000 mg/m3), 0.5時間吸入:20,200 (3,7000 mg/m3)
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Appelman et al.,1982)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P22 8.3.1 参照

C. 急性経皮毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat 記載なし
性別	不明
投与量	記載なし
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください 記載なし
投与経路	経皮
観察期間	記載なし
その他の試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
各用量群での死亡数	記載なし
臨床所見	記載なし
剖検所見	記載なし
その他	記載なし
結論	
LD50値又はLC50値	経皮LD50＝640 (mg/kg)
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド (文献名不明)による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P22 8.3.1 参照

5-3 腐食性／刺激性

A. 皮膚刺激／腐食

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
pH	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rabbit 記載なし
性別	不明
投与量	0.5mg
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください 記載なし
投与経路	経皮(毛刈りした健常皮膚に被験物質を塗布)
観察期間	記載なし
その他の試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
一次刺激スコア	記載なし
皮膚反応等	記載なし

その他	中等度の刺激 ・IUCLIDによれば同じ出典より500mgで中程度の刺激 ・(ACGIH (7th, 2001))の記述から、「中等度の刺激性を有する」 ・他に、ヘキスト社GLP試験でnot irritatingのデータあり(原報入手不能)。
結論	
皮膚刺激性	あり
皮膚腐食性	該当せず
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Union Carbide,1963)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P23 8.3.2 参照

B. 眼刺激／腐食

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
試験のタイプ	in vivo
GLP適合	記載なし
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rabbit 記載なし
性別	不明
投与量	0.04mg
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください 記載なし
投与経路	点眼
観察期間	記載なし
その他の試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
腐食	不明
刺激点数: 角膜	記載なし
刺激点数: 虹彩	記載なし
刺激点数: 結膜	記載なし
その他	強度の刺激性 ・IUCLIDによれば同じ出典より40mgで強度の刺激 ・(ACGIH (7th, 2001))「強度の刺激性」がみられ、非可逆的な影響と報告されていない。
結論	
眼刺激性	あり
眼腐食性	該当せず
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Union Carbide,1963)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P23 8.3.2 参照

5-4 皮膚感作

試験物質名	
CAS番号	
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
試験のタイプ	選択してください
GLP適合	選択してください
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	選択してください
性別	選択してください
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	選択してください
投与経路	経皮
観察期間	
その他の試験条件	
統計学的処理	
結果	
試験結果	
その他	
結論	
感作性	選択してください
注釈	

信頼性	選択してください
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献(元文献)	
備考	情報なし

5-5 反復投与毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat
性別	Wistar
投与量	MF
各用量群(性別)の動物数	0、25、125、675
溶媒(担体)	記載なし
投与経路	選択してください
対照群に対する処理	経口(飲水)
投与期間(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	試験群と同様に処理
投与頻度	28
回復期間	記載なし
試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	0 mg/kg/日 雄: 前胃の限局性角化亢進(軽微, 3/20; 軽度, 1/20) 雌: 前胃の限局性角化亢進(軽微, 6/20) 25、125 mg/kg/日 雌雄とも異常なし 675 mg/kg/日 雄: 前胃の限局性角化亢進(軽度から中等度, 8/10) 雌: 前胃の限局性角化亢進(軽度から中等度, 8/10)
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
実際に摂取された量	記載なし
用量反応性	記載なし
注釈	記載なし
結論	
NOAEL(NOEL)	NOAEL: 125 mg/kg/day
LOAEL(LOEL)	LOAEL: 675 mg/kg/day
NOAEL/LOAELの推定根拠	記載なし
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Til et al.,1988)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P23-26 8.3.4 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください
GLP適合	不明
試験を行った年	不明
試験系(種／系統)	記載なし
性別	Rat
	Wistar
	M

投与量	0、150、500 ppm (0、270、900mg/m3)
各用量群(性別)の動物数	10 匹/群
溶媒(担体)	選択してください 記載なし
投与経路	ガス吸入
対照群に対する処理	試験群と同様に処理
投与期間 (OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	28
投与頻度	4 週間 6 時間/日 5 日/週
回復期間	記載なし
試験条件	0、150、500 ppm (0、270、900mg/m3)で ① 6 時間連続暴露/日 ② 3 時間暴露+1.5 時間暴露休止+3 時間暴露/日 0、110、500 ppmで ③ 3 時間暴露+1.5 時間暴露休止+3 時間暴露/日、暴露時間中各4 回、計8回 5 分間の高濃度暴露 (基底濃度の6 倍)
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	③ 3 時間暴露+1.5 時間+3 時間暴露/日、暴露時間中に各4 回、計8 回5 分間の高濃度暴露 (基底濃度の6 倍) 500 ppm: 体重増加抑制
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	③ 3 時間暴露+1.5 時間+3 時間暴露/日、暴露時間中に各4 回、計8 回5 分間の高濃度暴露 (基底濃度の6 倍) 500 ppm: 刺激、興奮
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	① 6 時間連続暴露/日 500 ppm: 嗅上皮の変性 ② 3 時間暴露+1.5 時間休止+3 時間暴露/日 500 ppm: 嗅上皮の変性
実際に摂取された量	記載なし
用量反応性	記載なし
注釈	記載なし
結論	
NOAEL (NOEL)	NOAEL: 150 ppm (270 mg/m3).
LOAEL (LOEL)	記載なし
NOAEL/LOAELの推定根拠	記載なし
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Appleman et al.,1986)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P23-26 8.3.4 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	不明 (但し、蒸留し、GCで不純物をチェックしたと報告されている)
注釈	記載なし
方法	
方法/ガイドライン	選択してください ハムスターを用いた13週間吸入暴露試験
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種/系統)	その他 Syrian Golden Hamsters
性別	MF
投与量	0、390、1340、4560 ppm (0、702、2412、8208mg/m3)
各用量群(性別)の動物数	雌雄各 20匹
溶媒(担体)	窒素ガス
投与経路	蒸気吸入

対照群に対する処理	試験群と同様に処理 (窒素濃度を暴露群と同等に調整した空気を暴露)																																																																																																																																																										
投与期間 (OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	90																																																																																																																																																										
投与頻度	6 時間/日 5 日/週、																																																																																																																																																										
回復期間	記載なし																																																																																																																																																										
試験条件	●体重測定 個体毎に 1回/週 ●血液学的検査 13週目 (ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、赤血球数、白血球数および分類) ●血清生化学検査 13週目 (GOT(AST)、GPT(ALT)、ALP) ●尿検査 13週目 (GOT 活性、pH、グルコース、蛋白、潜血、ケトン、尿沈査) ●臓器重量測定 (心臓、腎臓、肝臓、脾臓、脳、精巣/卵巣、肺、副腎) ●病理組織学的検査 (0, 4560 ppm群) (心臓、腎臓、肝臓、脾臓、脳、精巣/卵巣、肺、副腎) (消化管、胸腺、甲状腺、大動脈、子宮、膵臓、腸間膜リンパ節、皮膚、骨格筋、頬袋、膀胱、唾液腺) (頭部、喉頭、咽頭、気管)																																																																																																																																																										
統計学的処理	記載なし																																																																																																																																																										
結果																																																																																																																																																											
体重、体重増加量	<table><tr><td></td><td>Acetaldehyde (ppm)</td><td>BW (g)</td><td>Testicles /Ovaries (gm/100mgBW)</td></tr><tr><td colspan="4">Male</td></tr><tr><td>0,</td><td></td><td>126±6</td><td>2.17±0.08</td></tr><tr><td>390,</td><td></td><td>126±5</td><td>2.14±0.10</td></tr><tr><td>1340,</td><td></td><td>119±6</td><td>2.29±0.12</td></tr><tr><td>4560</td><td></td><td>93±4*</td><td>2.65±0.16</td></tr><tr><td colspan="4">Female</td></tr><tr><td>0,</td><td></td><td>136±6</td><td>0.024±0.001</td></tr><tr><td>390,</td><td></td><td>142±5</td><td>0.021±0.001</td></tr><tr><td>1340,</td><td></td><td>140±6</td><td>0.019±0.001</td></tr><tr><td>4560</td><td></td><td>96±3*</td><td>0.023±0.002</td></tr></table>		Acetaldehyde (ppm)	BW (g)	Testicles /Ovaries (gm/100mgBW)	Male				0,		126±6	2.17±0.08	390,		126±5	2.14±0.10	1340,		119±6	2.29±0.12	4560		93±4*	2.65±0.16	Female				0,		136±6	0.024±0.001	390,		142±5	0.021±0.001	1340,		140±6	0.019±0.001	4560		96±3*	0.023±0.002																																																																																																														
	Acetaldehyde (ppm)	BW (g)	Testicles /Ovaries (gm/100mgBW)																																																																																																																																																								
Male																																																																																																																																																											
0,		126±6	2.17±0.08																																																																																																																																																								
390,		126±5	2.14±0.10																																																																																																																																																								
1340,		119±6	2.29±0.12																																																																																																																																																								
4560		93±4*	2.65±0.16																																																																																																																																																								
Female																																																																																																																																																											
0,		136±6	0.024±0.001																																																																																																																																																								
390,		142±5	0.021±0.001																																																																																																																																																								
1340,		140±6	0.019±0.001																																																																																																																																																								
4560		96±3*	0.023±0.002																																																																																																																																																								
摂餌量、飲水量	測定なし																																																																																																																																																										
臨床所見 (重篤度、所見の発現時期と持続時間)	4560ppm: 暴露期間中 雌雄共流涎、鼻汁、閉眼 1340ppm: 暴露直後不穏状態、その後 睡眠 390ppm: 暴露直後 sniffing																																																																																																																																																										
眼科学的所見 (発生率、重篤度)	観察なし																																																																																																																																																										
血液学的所見 (発生率、重篤度)	4560ppm: 雌 赤血球数増加、白血球数減少																																																																																																																																																										
血液生化学的所見 (発生率、重篤度)	4560ppm: ALP 高値																																																																																																																																																										
尿検査所見 (発生率、重篤度)	4560ppm: 雄 GOT 活性、ケトン高値 暴露量に対応して 尿量減少、尿着色																																																																																																																																																										
死亡数 (率)、死亡時間	4560ppm: 雌、1/10例 衰弱のため10週目屠殺 (盲腸拡張と腹膜炎)																																																																																																																																																										
剖検所見 (発生率、重篤度)	暴露による影響なし																																																																																																																																																										
臓器重量	<table><tr><td colspan="11">Body Weights and Organ Weights of Hamsters Repeatedly Exposed to Acetaldehyde for 13Weeks *</td></tr><tr><td colspan="11">Organ Weights (gm/100gm Body Weight)</td></tr><tr><td>Acet- alde- hyde, (ppm)</td><td>Body Weight, (gm)</td><td>Heart</td><td>Kidneys</td><td>Liver</td><td>Spleen</td><td>Brain</td><td>Testicles/ Ovaries</td><td>Lungs</td><td>Adrenals</td><td></td></tr><tr><td colspan="11">Males</td></tr><tr><td>0</td><td>126±6</td><td>0.388±0.010</td><td>0.72±0.02</td><td>4.42±0.09</td><td>0.075±0.004</td><td>0.82±0.03</td><td>2.17±0.08</td><td>0.74±0.01</td><td>0.0199±0.0007</td><td></td></tr><tr><td>390</td><td>126±5</td><td>0.368±0.014</td><td>0.74±0.01</td><td>4.09±0.09</td><td>0.067±0.003</td><td>0.79±0.03</td><td>2.14±0.10</td><td>0.75±0.03</td><td>0.0189±0.0013</td><td></td></tr><tr><td>1,340</td><td>119±6</td><td>0.385±0.008</td><td>0.78±0.02†</td><td>4.32±0.25</td><td>0.067±0.005</td><td>0.85±0.04</td><td>2.29±0.12</td><td>0.72±0.02</td><td>0.0212±0.0010</td><td></td></tr><tr><td>4,560</td><td>93±4‡</td><td>0.427±0.012‡</td><td>0.86±0.03‡</td><td>4.07±0.10</td><td>0.072±0.003</td><td>1.07±0.04‡</td><td>2.65±0.16†</td><td>0.82±0.03†</td><td>0.0209±0.0008</td><td></td></tr><tr><td colspan="11">Females</td></tr><tr><td>0</td><td>136±6</td><td>0.370±0.009</td><td>0.77±0.02</td><td>4.31±0.12</td><td>0.122±0.008</td><td>0.73±0.03</td><td>0.024±0.001</td><td>0.81±0.02</td><td>0.0130±0.0007</td><td></td></tr><tr><td>390</td><td>142±5</td><td>0.366±0.010</td><td>0.80±0.02</td><td>4.40±0.19</td><td>0.118±0.008</td><td>0.72±0.02</td><td>0.021±0.001</td><td>0.79±0.01</td><td>0.0129±0.0010</td><td></td></tr><tr><td>1,340</td><td>140±4</td><td>0.360±0.005</td><td>0.79±0.02</td><td>4.19±0.17</td><td>0.106±0.003</td><td>0.71±0.02</td><td>0.019±0.001†</td><td>0.75±0.02</td><td>0.0121±0.0007</td><td></td></tr><tr><td>4,560</td><td>99±3‡</td><td>0.474±0.008‡</td><td>0.97±0.03‡</td><td>4.18±0.20</td><td>0.101±0.007</td><td>1.09±0.03‡</td><td>0.023±0.002</td><td>1.00±0.04‡</td><td>0.0147±0.0007</td><td></td></tr><tr><td colspan="11">* All data are given as mean ±SE, †P <.05. ‡P <.001.</td></tr></table>	Body Weights and Organ Weights of Hamsters Repeatedly Exposed to Acetaldehyde for 13Weeks *											Organ Weights (gm/100gm Body Weight)											Acet- alde- hyde, (ppm)	Body Weight, (gm)	Heart	Kidneys	Liver	Spleen	Brain	Testicles/ Ovaries	Lungs	Adrenals		Males											0	126±6	0.388±0.010	0.72±0.02	4.42±0.09	0.075±0.004	0.82±0.03	2.17±0.08	0.74±0.01	0.0199±0.0007		390	126±5	0.368±0.014	0.74±0.01	4.09±0.09	0.067±0.003	0.79±0.03	2.14±0.10	0.75±0.03	0.0189±0.0013		1,340	119±6	0.385±0.008	0.78±0.02†	4.32±0.25	0.067±0.005	0.85±0.04	2.29±0.12	0.72±0.02	0.0212±0.0010		4,560	93±4‡	0.427±0.012‡	0.86±0.03‡	4.07±0.10	0.072±0.003	1.07±0.04‡	2.65±0.16†	0.82±0.03†	0.0209±0.0008		Females											0	136±6	0.370±0.009	0.77±0.02	4.31±0.12	0.122±0.008	0.73±0.03	0.024±0.001	0.81±0.02	0.0130±0.0007		390	142±5	0.366±0.010	0.80±0.02	4.40±0.19	0.118±0.008	0.72±0.02	0.021±0.001	0.79±0.01	0.0129±0.0010		1,340	140±4	0.360±0.005	0.79±0.02	4.19±0.17	0.106±0.003	0.71±0.02	0.019±0.001†	0.75±0.02	0.0121±0.0007		4,560	99±3‡	0.474±0.008‡	0.97±0.03‡	4.18±0.20	0.101±0.007	1.09±0.03‡	0.023±0.002	1.00±0.04‡	0.0147±0.0007		* All data are given as mean ±SE, †P <.05. ‡P <.001.										
Body Weights and Organ Weights of Hamsters Repeatedly Exposed to Acetaldehyde for 13Weeks *																																																																																																																																																											
Organ Weights (gm/100gm Body Weight)																																																																																																																																																											
Acet- alde- hyde, (ppm)	Body Weight, (gm)	Heart	Kidneys	Liver	Spleen	Brain	Testicles/ Ovaries	Lungs	Adrenals																																																																																																																																																		
Males																																																																																																																																																											
0	126±6	0.388±0.010	0.72±0.02	4.42±0.09	0.075±0.004	0.82±0.03	2.17±0.08	0.74±0.01	0.0199±0.0007																																																																																																																																																		
390	126±5	0.368±0.014	0.74±0.01	4.09±0.09	0.067±0.003	0.79±0.03	2.14±0.10	0.75±0.03	0.0189±0.0013																																																																																																																																																		
1,340	119±6	0.385±0.008	0.78±0.02†	4.32±0.25	0.067±0.005	0.85±0.04	2.29±0.12	0.72±0.02	0.0212±0.0010																																																																																																																																																		
4,560	93±4‡	0.427±0.012‡	0.86±0.03‡	4.07±0.10	0.072±0.003	1.07±0.04‡	2.65±0.16†	0.82±0.03†	0.0209±0.0008																																																																																																																																																		
Females																																																																																																																																																											
0	136±6	0.370±0.009	0.77±0.02	4.31±0.12	0.122±0.008	0.73±0.03	0.024±0.001	0.81±0.02	0.0130±0.0007																																																																																																																																																		
390	142±5	0.366±0.010	0.80±0.02	4.40±0.19	0.118±0.008	0.72±0.02	0.021±0.001	0.79±0.01	0.0129±0.0010																																																																																																																																																		
1,340	140±4	0.360±0.005	0.79±0.02	4.19±0.17	0.106±0.003	0.71±0.02	0.019±0.001†	0.75±0.02	0.0121±0.0007																																																																																																																																																		
4,560	99±3‡	0.474±0.008‡	0.97±0.03‡	4.18±0.20	0.101±0.007	1.09±0.03‡	0.023±0.002	1.00±0.04‡	0.0147±0.0007																																																																																																																																																		
* All data are given as mean ±SE, †P <.05. ‡P <.001.																																																																																																																																																											

病理組織学的所見(発生率、重篤度)	390ppm: 気管部化生上皮(F1匹) 1340ppm: 気管粘膜表面の限局的な重層扁平上皮による被覆(M4, F2匹) 4560ppm: 重篤な呼吸器病理変化(気管、気管支 上皮粘膜表面を角化重層扁平上皮による被覆、気管支肺炎)
実際に摂取された量	記載なし
用量反応性	記載なし
注釈	記載なし
結論	
NOAEL (NOEL)	NOAEL:390ppm(702mg/m ³)
LOAEL (LOEL)	LOAEL:1340ppm(2412mg/m ³)
NOAEL/LOAELの推定根拠	気管の病理組織学的変化 腎臓の体重比臓器重量増加
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	オランダのTNOの古い試験報告であり、GLP導入以前の試験と考えられます。 しかし、雌雄各群10匹のゴールデンハムスターを使用し、対照と最高用量で軽度の毒性発現がみられる3用量段階で、6hr/day, 5days/wk, 13wksの暴露を実施していますので、ごく標準的な毒性試験と考えられます。観察項目として、体重測定と血液学的検査、血清生化学検査、尿検査、病理組織学的検査と検査項目が明記されています。4ページにまとめられた短報です。データを表として掲載されているのは体重比臓器重量のみですが、変化のあったエンドポイントについては簡潔に文章でまとめられており、Japan チャレンジの目的に適しているものと考えられます。 以上、現在のテストガイドラインに従ったものではありませんが、OECD信頼性スコア2 に該当するものとして判断致します。
出典	Priority Substance Assessment Reports: Environment Canada p19
引用文献(元文献)	文献2
備考	受胎能データに利用

5-6 *in vitro* 遺伝毒性

A. 遺伝子突然変異

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください <i>in vitro</i> 遺伝子突然変異
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株又は検定菌	選択してください マウスリンフォーマL5178Y 細胞、
代謝活性化(S9)の有無	有
試験条件	4 時間処理, tk 座, 用量176-353(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
変異原性	
代謝活性ありの場合	ND
代謝活性なしの場合	+ (−S9)
注釈	− S9: +, +S9: ND 用量相関性あり
結論	
遺伝子突然変異	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Wangenheim & Bolesfoldi, 1988)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください <i>in vitro</i> 遺伝子突然変異
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株又は検定菌	選択してください ヒトリンパ球
代謝活性化(S9)の有無	選択してください
試験条件	hprt 座 用量:13(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
変異原性	

代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9:+, +S9:ND 用量相関性あり
結論	
遺伝子突然変異	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(He & Lambert,1990)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください in vitro 復帰突然変異試験
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株又は検定菌	S. typhimurium 4種(TA 1535 & TA 1537 & TA 98 and TA 100) ネズミチフス菌 TA100、TA1535、TA1537、TA98、大腸菌WP2 uvrA
代謝活性化(S9)の有無	有
試験条件	用量: ネズミチフス菌 TA100、TA1535、 TA1537＝0.5% (空気中) TA98＝1% (空気中) 大腸菌WP2 uvrA＝0.5% (空気中)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
変異原性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9:-, +S9:-
結論	
遺伝子突然変異	陰性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(JETOC, 1997)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

B. 染色体異常

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株	選択してください SD ラット初代皮膚線維芽細胞
代謝活性化(S9)の有無	有
試験条件	用量:44.4(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
染色体異常	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9:+ 用量相関性あり +9:ND
結論	
染色体異常	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Bird et al.,1982)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
-------	--------------

CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株	選択してください
代謝活性化(S9)の有無	不明
試験条件	用量:15.6(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
染色体異常	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9+: +9:ND
結論	
染色体異常	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Dulout & Furnus,1988)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	in vitro 染色体異常試験(染色体不分離)
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株	選択してください
代謝活性化(S9)の有無	有
試験条件	用量:200(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
染色体異常	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9+: +9:ND
結論	
染色体異常	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Crebelli et al.,1989)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	in vitro 小核試験
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株	選択してください
代謝活性化(S9)の有無	SD ラット初代皮膚線維芽細胞
試験条件	12 時間処理
試験条件	用量:4.4-44(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
染色体異常	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9+: +S9:ND 用量相関性あり
結論	
染色体異常	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)

信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Bird et al.,1982)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	in vitro 小核試験
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
細胞株	Human lymphoblastoid cells (TK6)
代謝活性化(S9)の有無	有
試験条件	用量:26.5(μ g/mL)
結果	
細胞毒性	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
染色体異常	
代謝活性ありの場合	記載なし
代謝活性なしの場合	記載なし
注釈	- S9:+
結論	
染色体異常	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Migliore et al., 1996)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

5-7 in vivo 遺伝毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください 染色体異常試験
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	左より系統のみ選択してカット＆ペーストしてください。(リストにない等の場合、自由記入) ラット胚細胞
性別	不明
投与量	7,800 mg/kg
投与経路	選択してください 記載なし
試験期間	記載なし
試験条件	経羊膜投与(妊娠13日目)、1 回
統計学的処理	記載なし
結果	
性別及び投与量別の結果	記載なし
遺伝毒性効果	選択してください 記載なし
NOAEL (NOEL)	記載なし
LOAEL (LOEL)	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	- S9: +
結論	
in vivo 遺伝毒性	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Barilak & Kozachuk, 1983)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください 小核試験
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし

試験系(種／系統)	左より系統のみ選択してカット＆ペーストしてください。(リストにない等の場合、自由記入)
性別	ラット骨髄
投与量	250 mg/kg
投与経路	選択してください 腹腔内投与
試験期間	記載なし
試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
性別及び投与量別の結果	記載なし
遺伝毒性効果	陽性
NOAEL (NOEL)	記載なし
LOAEL (LOEL)	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	- S9: +
結論	
<i>in vivo</i> 遺伝毒性	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Wakata et al., 1998)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください 小核試験
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	左より系統のみ選択してカット＆ペーストしてください。(リストにない等の場合、自由記入)
性別	ラット末梢血
投与量	250 mg/kg
投与経路	選択してください 腹腔内投与
試験期間	記載なし
試験条件	記載なし
統計学的処理	記載なし
結果	
性別及び投与量別の結果	記載なし
遺伝毒性効果	選択してください 記載なし
NOAEL (NOEL)	記載なし
LOAEL (LOEL)	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	- S9: +
結論	
<i>in vivo</i> 遺伝毒性	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Wakata et al., 1998)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	選択してください 小核試験
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	左より系統のみ選択してカット＆ペーストしてください。(リストにない等の場合、自由記入)
性別	OD-1雄マウス骨髄
投与量	400mg/kg
投与経路	選択してください 腹腔内投与
試験期間	記載なし
試験条件	記載なし

統計学的処理	記載なし
結果	
性別及び投与量別の結果	記載なし
遺伝毒性効果	選択してください
	記載なし
NOAEL (NOEL)	記載なし
LOAEL (LOEL)	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	- S9: +
結論	
<i>in vivo</i> 遺伝毒性	陽性
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Morita et al., 1997)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P28 8.3.6 参照

5-8 発がん性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat
	Wistar
性別	MF
投与量	0、750、1,500、3,000-1,000 ppm(0、1,350、2,700、5,400-1,800mg/m3
各用量群(性別)の動物数	記載なし
溶媒(担体)	選択してください
	記載なし
投与経路	ガス吸入
処理頻度	27か月間 6時間/日 5 日/週
コントロールグループと処理	試験群と同様に処理
試験条件	0、750、1,500、3,000-1,000 ppm(0、1,350、2,700、5,400-1,800mg/m3 相当、高用量については投与20-52 週にかけて暴露濃度を1,000 ppm まで減少させた)
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	750 ppm以上 雌雄;鼻腔のがん腫(上皮内がん、扁平上皮がん、腺がん)
実際に摂取された量	記載なし
腫瘍発生までの時間	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	750 ppm以上 雌雄;鼻腔のがん腫(上皮内がん、扁平上皮がん、腺がん)
結論	
実験動物における発がん性の有無	あり
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Woutersen et al.,1986; Woutersen & Appelman, 1984; Woutersen et al.,1985)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P31 8.3.7 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明

試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	その他 シリアンハムスター 6 週齢
性別	MF
投与量	0、2,500-1,650ppm (0、4,500-2,970mg/m3)
各用量群(性別)の動物数	30
溶媒(担体)	選択してください 不明
投与経路	ガス吸入
処理頻度	52 週間 7 時間/日 5 日/週
コントロールグループと処理	試験群と同様に処理
試験条件	0、2,500-1,650ppm (0、4,500-2,970mg/m3)投与群については、2,500 ppm から1,650 ppm まで投与期間中に徐々に暴露濃度を減少させた。
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	呼吸器系腫瘍を発生 (主に喉頭がん、その他として喉頭ポリープ、鼻腔のがん腫、ポリープ) (ppm) 雄 雌 0 0/30 0/28 2,500-1,650 8/29* 5/29* *統計学的に有意
実際に摂取された量	記載なし
腫瘍発生までの時間	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	呼吸器系腫瘍を発生 (主に喉頭がん、その他として喉頭ポリープ、鼻腔のがん腫、ポリープ) (ppm) 雄 雌 0 0/30 0/28 2,500-1,650 8/29* 5/29* *統計学的に有意
結論	
実験動物における発がん性の有無	あり
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Feron, 1982)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P31 8.3.7 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	その他 シリアンハムスター 6 週齢
性別	MF
投与量	0、2,500-1,650ppm(0、4,500-2,970mg/m3)
各用量群(性別)の動物数	30
溶媒(担体)	選択してください 不明
	選択してください

投与経路	吸入暴露(全身) + ペンツピレン気管内投与またはジエチルニトロサミン皮下投与
処理頻度	52 週間, 7 時間/日, 5 日/週 82 週で解剖ペンツピンは1 回/週 ジエチルニトロサミンは1 回/3 週
コントロールグループと処理	試験群と同様に処理
試験条件	0、2,500-1,650ppm(0、4,500-2,970mg/m ³) 投与群については、2,500 ppm から1,650 ppm まで投与期間中に徐々に暴露濃度を減少させた。ペンツピレンは、0.175、0.35%を0.2 ml/回(総量として18.2、36.4 mg/匹)ジエチルニトロサミンは0.0625%を0.2ml/回(総量として2.1μ L/匹)
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	呼吸器系腫瘍(乳頭腫、腺腫、扁平上皮がん、腺がん、上皮内がん等、部位特定なし)
実際に摂取された量	記載なし
腫瘍発生までの時間	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	呼吸器系腫瘍(乳頭腫、腺腫、扁平上皮がん、腺がん、上皮内がん等、部位特定なし)
結論	
実験動物における発がん性の有無	あり
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Feron, 1982)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料のP31 8.3.7 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
試験のタイプ	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat Fischer 344
性別	M
投与量	2.5、5% (1.66、2.75 mg/kg/日相当)
各用量群(性別)の動物数	19-20
溶媒(担体)	選択してください 不明
投与経路	選択してください 中期肝がん(伊東)モデル経口投与(飲水)
処理頻度	イニシエータとしてDEN を腹腔内投与し、2週間後から4週間アセトアルデヒドを投与
コントロールグループと処理	試験群と同様に処理
試験条件	2.5、5% (1.66、2.75 mg/kg/日相当)
統計学的処理	記載なし
結果	
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
眼科学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
尿検査所見(発生率、重篤度)	記載なし
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	肝臓のGST-P 陽性巣の増加なし
実際に摂取された量	記載なし

腫瘍発生までの時間	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	ジエチルニトロサミン腹腔内投与、その2週間後から4週間アセトアルデヒド2.5、5% (1.66、2.75 mg/kg/日相当)を経口投与(飲水)、投与開始1週間後に2/3 部分肝切除 肝臓のGST-P 陽性巣の増加なし
結論	
実験動物における発がん性の有無	なし
注釈	肝発がんの指標となる肝臓の胎盤型グルタチオンS-トランスアミラーゼ(GST-P)陽性巣の増加はみられなかった。
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Ikawa,1986)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P31 8.3.7 参照

5-9 生殖・発生毒性(受胎能と発生毒性を含む)

A. 受胎能

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	
注釈	
方法	
方法／ガイドライン	
試験のタイプ	
GLP適合	
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	
性別	
投与量	
各用量群(性別)の動物数	
溶媒(担体)	
投与経路	
試験期間	
交配前暴露期間	
試験条件	
統計学的処理	
結果	
体重、体重増加量	
摂餌量、飲水量	
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	
妊娠率(妊娠個体数/交配数)	
交尾前期間(交配までの日数及び交配までの性周期回数)	
妊娠期間(妊娠0日から起算)	
妊娠指数(生存胎仔数/着床痕数)	
哺乳所見	
性周期変動	
精子所見	
血液学的所見(発生率、重篤度)	
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	
尿検査所見(発生率、重篤度)	
死亡数(率)、死亡時間	
剖検所見(発生率、重篤度)	
着床数	
黄体数	
未熟卵胞数	
臓器重量	
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	
実際に摂取された量	
用量反応性	
同腹仔数及び体重	
性比	
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	
離乳までの分娩後生存率	
新生仔所見(肉眼的な異常)	
生後発育及び発育率	
膣開口又は精巣下降(包皮分離)	
生殖器-肛門間距離などその他の観察事項	
臓器重量	
統計的結果	
注釈	
結論	

PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
F1Iに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
F2Iに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	
注釈	
信頼性	
信頼性の判断根拠	
出典	
引用文献(元文献)	
備考	<p>反復投与毒性 参照</p> <p>「ハムスターを用いた13週間吸入暴露試験」では1340ppmで卵巣の相対重量低値が認められているが、中間用量での変化であり、原報では影響として捉えていない。</p> <p>また、4560ppmで精巣の相対重量の増加が認められているが、体重減少のもとでの相対重量の高値であり、一般的な現象として、原報では影響として捉えていない。</p> <p>なお、いずれの臓器でも最高用量での(暴露に起因する)病理組織学的変化がみられなかったことから、これらの臓器への本化合物暴露の影響が認められなかったことが裏付けられている。</p>

B. 発生毒性

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Mouse CFLPマウス
性別	F
投与量	0、1、2%(V/V)(約31、62 mg/kg/日)
各用量群(性別)の動物数	不明
投与経路	選択してください 静脈内投与
試験期間	記載なし
交配前暴露期間	記載なし
試験条件	妊娠7～9日 10又は19日開腹
統計学的処理	記載なし
結果	
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
用量あたり妊娠数	記載なし
流産数	記載なし
早期/後期吸収数	F 1 :用量依存的吸収胚増加
着床数	記載なし
黄体数	記載なし
妊娠期間(妊娠0日から起算)	記載なし
体重、体重増加量	F 1 :体重減少
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量(総子宮量への影響)	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	F 1 :2.0 %:神経管の閉鎖障害
同腹仔数及び体重	記載なし
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	記載なし
性比	記載なし
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	記載なし
生後発育	記載なし
分娩後生存率	記載なし
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	F 1 :奇形(頭部及び尾部)
実際に投与された量	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	<p>F 0 :影響なし</p> <p>NOAEL:62 mg/kg/日</p> <p>F 1 :用量依存的吸収胚増加、体重減少</p> <p>2.0 %:神経管の閉鎖障害、奇形(頭部及び尾部)</p>
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	NOAEL:62 mg/kg
F1Iに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし

F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(O'Shea & Kaufman, 1979, 1981)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P26 8.3.5 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Mouse C57BL/6J
性別	F
投与量	320 mg/kg (4 %水溶液)
各用量群(性別)の動物数	記載なし
投与経路	選択してください 腹腔内投与(単回)
試験期間	記載なし
交配前暴露期間	記載なし
試験条件	4-14匹 妊娠7、8、9又は10日目 の1日投与 18日開腹
統計学的処理	記載なし
結果	
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
用量あたり妊娠数	記載なし
流産数	記載なし
早期/後期吸収数	記載なし
着床数	記載なし
黄体数	記載なし
妊娠期間(妊娠0日から起算)	記載なし
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	F 1 :妊娠7、8 日投与群;外脳症
臓器重量(総子宮量への影響)	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
同腹仔数及び体重	記載なし
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	記載なし
性比	記載なし
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	記載なし
生後発育	記載なし
分娩後生存率	記載なし
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	F 1 :妊娠7、8 日投与群;下顎及び上顎の低形成 妊娠9、10 日投与群;多肢、外反足
実際に投与された量	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	F 0:記載なし F 1 : 妊娠7、8 日投与群;外脳症、下顎及び上顎の低形成 妊娠9、10 日投与群;多肢、外反足
結論	
P1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Webster et al., 1983)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P26 8.3.5 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Mouse ICR
性別	選択してください
投与量	200 mg/kg (0.69 %水溶液) を2時間おきに5回
各用量群(性別)の動物数	6
投与経路	選択してください 腹腔内投与
試験期間	記載なし
交配前暴露期間	記載なし
試験条件	妊娠10日目の1日 18日開腹
統計学的処理	記載なし
結果	
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
用量あたり妊娠数	記載なし
流産数	記載なし
早期/後期吸収数	記載なし
着床数	記載なし
黄体数	記載なし
妊娠期間(妊娠0日から起算)	記載なし
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量(総子宮重量への影響)	記載なし
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
同腹仔数及び体重	記載なし
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	記載なし
性比	記載なし
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	記載なし
生後発育	記載なし
分娩後生存率	記載なし
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	記載なし
実際に投与された量	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	F 0:記載なし F 1 :影響なし 胎児に影響はみられなかった
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Blakley & Scott, 1984a)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P26 8.3.5 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系(種／系統)	Rat CFラット
性別	F
投与量	0、50、75、100 mg/kg/日

各用量群(性別)の動物数	記載なし
投与経路	選択してください
	腹腔内投与
試験期間	記載なし
交配前暴露期間	記載なし
試験条件	対照群13匹 投与群5-10匹 妊娠10、11または12日目の1日、又は10-12日 妊娠21開腹
統計学的処理	記載なし
結果	
死亡数(率)、死亡時間	記載なし
用量あたり妊娠数	記載なし
流産数	記載なし
早期/後期吸収数	F1: 10日投与 50 mg/kg 以上; 吸収胚減少 11日投与 50 mg/kg 以上; 吸収胚減少 12日投与 50 mg/kg 以上; 吸収胚減少 10-12日投与 50 mg/kg/日以上; 吸収胚減少
着床数	記載なし
黄体数	記載なし
妊娠期間(妊娠0日から起算)	記載なし
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
血液学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
剖検所見(発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量(総子宮量への影響)	F1: 10日投与 50 mg/kg 以上; 胎児体重、胎盤重量減少 11日投与 50 mg/kg 以上; 胎児体重、胎盤重量減少 12日投与 50 mg/kg 以上; 胎児体重、胎盤重量減少 10-12日投与 50 mg/kg/日以上; 胎児体重、胎盤重量減少
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	記載なし
同腹仔数及び体重	記載なし
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)	記載なし
性比	記載なし
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	記載なし
生後発育	記載なし
分娩後生存率	記載なし
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)	F1: 10日投与 100 mg/kg; 合指、白内障 11日投与 75 mg/kg; 合指、白内障 100 mg/kg; 白内障 12日投与 50 mg/kg; 合指、耳介低位、白内障 75 mg/kg; 合指、耳介低位、小顎、出血、白内障 100 mg/kg; 合指、耳介低位、小顎、出血、浮腫、白内障 10-12日投与 50 mg/kg/日; 合指、耳介低位、小顎、小頭症、出血、浮腫、白内障 75 mg/kg; 耳介低位、出血、白内障 100 mg/kg/日; 合指、白内障
実際に投与された量	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし

注釈	F 0 :影響なし NOAEL : 50 mg/kg F 1 : 10 日投与 50 mg/kg 以上 ; 吸収胚、胎児体重、胎盤重量減少 100 mg/kg ; 合指、白内障 11 日投与 50 mg/kg 以上 ; 吸収胚、胎児体重、胎盤重量減少 75 mg/kg ; 水頭症、外脳症、合指、白内障 100 mg/kg ; 白内障 12 日投与 50 mg/kg ; 合指、耳介低位、白内障 50 mg/kg 以上 ; 吸収胚、胎児体重、胎盤重量減少 75 mg/kg ; 合指、耳介低位、小顎、出血、水頭症、白内障 100 mg/kg ; 合指、耳介低位、小顎、出血、水頭症、浮腫、白内障 10-12 日投与 50 mg/kg/日 ; 合指、耳介低位、小顎、小頭症、出血、浮腫、白内障 50 mg/kg/日以上 ; 吸収胚、胎児体重、胎盤重量減少 75 mg/kg ; 耳介低位、小頭症、出血、水頭症、白内障 100 mg/kg/日 ; 合指、白内障
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	NOAEL : 50 mg/kg
F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)	記載なし
注釈	50 mg/kg以上で吸収胚、奇形 (浮腫、小頭、小顎、外脳症、水頭症)、発育遅延、体重、胎盤重量減少がみられた
信頼性	2 制限付きで信頼性あり (非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書 (化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献 (Sreenathan et al., 1982)の結果による。
引用文献 (元文献)	文献1
備考	出典資料の P26 8.3.5 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験系 (種／系統)	Rat Crj: CD(SD)
性別	F
投与量	0、200 mg/kg/日 (3 %水溶液)
各用量群 (性別) の動物数	記載なし
投与経路	強制経口投与
試験期間	記載なし
交配前暴露期間	記載なし
試験条件	妊娠6～18日目 妊娠20日開腹
統計学的処理	記載なし
結果	
死亡数 (率)、死亡時間	記載なし
用量あたり妊娠数	記載なし
流産数	記載なし
早期/後期吸収数	記載なし
着床数	記載なし
黄体数	記載なし
妊娠期間 (妊娠0日から起算)	記載なし
体重、体重増加量	記載なし
摂餌量、飲水量	記載なし
臨床所見 (重篤度、所見の発現時期と持続時間)	記載なし
血液学的所見 (発生率、重篤度)	記載なし
血液生化学的所見 (発生率、重篤度)	記載なし
剖検所見 (発生率、重篤度)	記載なし
臓器重量 (総子宮量への影響)	記載なし
病理組織学的所見 (発生率、重篤度)	記載なし
同腹仔数及び体重	記載なし
生存数 (生存胎仔数及び胎仔数)	記載なし
性比	記載なし
生存率 (生後4日目生存仔数/総分娩仔数)	記載なし
生後発育	記載なし
分娩後生存率	記載なし
肉眼的異常 (外表観察、内臓標本、骨格標本)	記載なし

実際に投与された量	記載なし
用量反応性	記載なし
統計的結果	記載なし
注釈	F 0 :記載なし F 1 :骨格に影響 (具体的記載なし)
結論	
PIに対するNOAEL (NOEL)又は LOAEL (LOEL)	記載なし
F1に対するNOAEL (NOEL)又は LOAEL (LOEL)	LOAEL : 200 mg/kg (初期リスク評価書の判断)
F2に対するNOAEL (NOEL)又は LOAEL (LOEL)	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Fadel & Perasud, 1990)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料の P26 8.3.5 参照

5-10その他関連情報

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
方法	
方法／ガイドライン	不明
GLP適合	不明
試験を行った年	記載なし
試験条件	記載なし
結果	
結果	記載なし
結論	
結論	IARC は、グループ2B (ヒトに対して発がん性がある可能性がある物質) に分類している。なお、米国EPA (2002) は、Wistar ラットを用いた吸入暴露試験の結果から、発がんのユニットリスクを $2.2 \times 10^{-6}/(\mu\text{g}/\text{m}^3)$ と算出し、 10^{-6} の生涯過剰発がんリスクに対応する大気中濃度は $0.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、 10^{-5} では $5\mu\text{g}/\text{m}^3$ であるとしている。
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(IARC, 2002)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	出典資料のP32- 表8-7 国際機関等でのアセトアルデヒドの発がん性評価

5-11 ヒト暴露の経験

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	50 ppm (90 mg/m ³)、15分間蒸気暴露
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	記載なし
被験者の説明	ヒトボランティア12名
暴露期間	15分間蒸気暴露
測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	
統計的結果	記載なし
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	記載なし
結論	
結論	眼に対する軽度の刺激
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Silverman et al., 1946)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	200 ppm (360 mg/m ³) を15分間暴露
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	記載なし
被験者の説明	ヒト
暴露期間	15分間暴露

測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	
統計的結果	記載なし
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	記載なし
結論	
結論	一過性の結膜炎
注釈	記載なし
信頼性	2 制限付きで信頼性あり(非GLP等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータ
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Proctor and Hughes,1978)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	記載なし
被験者の説明	男性14名(18～45歳)
暴露期間	134 ppm (241 mg/m3) を30分間暴露
測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	
統計的結果	全員に軽度の呼吸器への刺激
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	記載なし
結論	
結論	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Sim and Pattle, 1957)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	5%
注釈	記載なし
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	記載なし
被験者の説明	ヒト
暴露期間	20.6～82.4 mg/分で36分間まで静脈内投与
測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	
統計的結果	記載なし
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	心拍数、呼吸数、死腔の増加、肺胞気二酸化炭素レベルの減少
結論	
結論	記載なし
注釈	ジスルフィラム (ALDHの阻害剤) の投与後にエタノールを摂取した被験者にみられるものと質的、量的に似ている
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Asmussen et al., 1948)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	記載なし
注釈	記載なし
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	記載なし
被験者の説明	記載なし
暴露期間	偶発的な暴露
測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	

統計的結果	記載なし
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	頭痛、昏睡、目、皮膚、呼吸器、喉の刺激、気管支炎、肺水腫、運動麻痺、死亡
結論	
結論	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(U.S. NRC, 1981)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

試験物質名	Acetaldehyde
CAS番号	75-07-0
純度等	75%水溶液
注釈	記載なし
製造／加工／使用情報	記載なし
研究デザイン	記載なし
仮説検証	記載なし
データ収集方法	パッチテスト
被験者の説明	東洋系ボランティア12名
暴露期間	記載なし
測定又は評価曝露データ	記載なし
結果	
統計的結果	記載なし
発病頻度	記載なし
相関	記載なし
分布	記載なし
研究提供者等	記載なし
注釈	全員に、皮膚の刺激(紅斑)
結論	
結論	記載なし
注釈	記載なし
信頼性	4 信頼性評価不能(MSDS等)
信頼性の判断根拠	信頼性が高いと認められる文書(化学物質の初期リスク評価書)からのデータであるが結論の記載がないため
出典	化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド中に記載された文献(Wilkin and Fortner, 1985)の結果による。
引用文献(元文献)	文献1
備考	P19 8.2 疫学調査及び事例 参照

6 参考文献(以下に欄を追加の上、一文献について一行にて一覧を記載)

(09年1月改訂版)

文献番号(半角数字: 自動的に半角になります)	詳 細(OECD方式での記入をお願いします。下の記入例参照。)	日本語の場合、以下の欄をお願いします。
1		財団法人 化学物質評価研究機構, 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (2005) 化学物質の初期リスク評価書 Ver. 1.0 No. 61アセトアルデヒド. (独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 委託事業)
2	Alexander Kruijsse, MSc; Victor J. Feron, MSc; Heero P. Til et al (1975) Repeat Exposure to Acetaldehyde Vapor. Arch Environ Health, 30, 449-452	
3		『アセトアルデヒド (被験物質番号K-458) の微生物による分解度試験 最終報告書』平成8年6月21日付 (財)化学検査協会